

経営体の概要

- ・所在地: 宮崎県西都市
- ・生産者グループ名: ハッピーマン
- ・栽培作物・作付面積: ピーマン・3.2ha
- ・メンバー数: 10戸(10名、平成30年9月現在)

導入技術

- ・環境測定装置 10戸
- ・炭酸ガス発生装置 7戸
- ・ICTコンサル会社と連携した各種データの見える化 10戸



各種分析項目



環境測定データの解析

毎月定例会を開催し、データに基づいた環境制御・栽培管理技術を検討

導入経緯

- ピーマン産地であるJA西都市では、約170戸(H26)がピーマンを栽培しているが、10年後、農家数及び生産量ともに半減すると推測され、産地維持対策の一つとして収量向上を設定。
- そこで、ハウスピーマンの平均収量16.5トン/10a(H32年度)の実現を目指し、生産者グループ(10名)と普及センター、西都市、JA西都等が連携し、平成27年度より環境測定装置や炭酸ガス発生装置を導入し、複合環境制御技術の確立を目指した取組を開始した。

取組の特徴・効果

- 生産者グループ、JA、市、普及センター、ICTコンサル会社で毎月定例会を開催。分析データを共有し、データに基づいた環境制御と栽培管理技術を検討。
- 個々の栽培方法や草勢管理等を学ぶため、毎週、メンバーのほ場巡回を実施。
- これらの取組により、収量減等の要因をデータにより見える化でき、栽培技術の改善へと繋げることができた。その結果、生産者グループの10a当たり平均収量が増加。

12.8トン (H26年度) → 14トン (H29年度)